

近畿地方公設試

テクノロジー・コンファレンス 2004

お探しの新しい技術は、あなたのすぐそばにあります

主催 近畿地域産業技術連携推進会議

貴社の第二創業や新分野への進出には、基盤となる新たな技術をいかにスピーディーにかつ効率的に獲得できるかがキーとなります。公設試験研究機関は、そのような皆様方をサポートするために設置された技術支援機関として、企業ニーズに沿った新しい技術開発に取り組んでいます。

近畿地域の各公設試では、最新の研究開発成果を企業の方々にご活用いただくため、毎年合同で研究開発成果の発表会を開催しています。今年度も11機関の選りすぐりの成果を発表させていただくとともに日頃なじみのない他の地域の公設試の活動をご紹介するパネル展示会も同時に開催いたします。

新技術をお探しの企業の方々に、是非この機会をご活用いただきますようご案内申し上げます。

1 開催日時

平成16年11月18日(木) 13:30~17:00

2 開催場所

ラッセホール 5階会議室
神戸市中央区中山手通4-10-8 TEL:078-291-1117
(JR・阪神元町駅より北へ徒歩8分、地下鉄県庁前駅より徒歩5分)

3 内容

シーズ発表会
〔第1会場：デバイス・プロセス分野 6テーマ〕
〔第2会場：材料・環境分野 5テーマ〕
パネルセッション
〔第3会場 11ブース〕

4 参加費

無料

5 申込要領

必要事項(別紙参加申込票)をご記入の上、
FAX: 078-735-7845宛
平成16年11月11日(木)までにお申し込み下さい。
(なお、受講票は発行しておりませんので、会場受付でお申し出下さい。)
兵庫県立工業技術センターのホームページからもお申し込みができます。
<http://www.hyogo-kg.go.jp>

6 お問い合わせ

近畿経済産業局 産学官連携推進課 担当: 森永、伊藤 TEL:06-6966-6164
兵庫県立工業技術センター 技術企画部 担当: 福地 TEL:078-731-4183

近畿地域産業技術連絡推進会議: 経済産業省近畿経済産業局、(独)産業技術総合研究所関西センターおよび近畿経済産業局管内の工業系公設試験研究機関(福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都市、大阪市)で構成

プログラム

▶ あいさつ

13:30~13:45

近畿経済産業局 地域経済部 次長 上村 良次
兵庫県立工業技術センター 所長 松井 繁朋

▶ シーズ発表会

第1会場(5Fハイビスカス)〔デバイス・プロセス分野〕

1. 超臨界二酸化炭素を原料および溶媒とする医薬品中間体の実用的な合成

13:50~14:15

大阪市立工業研究所 有機材料課研究主任 水野 卓巳

超臨界二酸化炭素は、気体と液体の中間的な状態であり抽出力が強いので、主に食品成分の抽出や電子部品の洗浄、染色などに応用されています。今回、超臨界二酸化炭素を化学合成に利用することを検討しました。その結果、超臨界二酸化炭素を原料および溶媒として、高血圧治療薬、糖尿病治療薬やED治療薬の中間体を効率的に製造できる実用的な合成法を開発しました。

2. 光学素子作製用ポリシロキサン型電子線レジストの開発

14:15~14:40

大阪府立産業技術総合研究所 化学環境部化学材料系主任研究員 櫻井 芳昭

熱安定性、耐エッチング性が高いと期待されるケイ素-酸素(シロキサン)結合を有するポリシロキサン化合物は電子線に対する感度が高く、アナログ性を有し、実際のプロセスでの安定性にも優れています。その結果、短時間でのパターン形成も可能となり、光学素子作製に適したレジストとなります。

3. 「革新的デジタルプリントを目指して」

- 静電電子写真方式によるダイレクト・プリント・システム -

14:40~15:05

京都市産業技術研究所 繊維技術センター生産技術グループ 研究担当課長補佐 早水 督

最近の消費者ニーズの個性化・多様化指向を十分満足させ、同時に多品種小ロットと短納期生産(QR)や環境保全に対応するため、世界に類例を見ない静電電子写真方式を用いた高速フルカラー捺染機を開発しました。これにより従来のインクジェットプリント方式と比較して、速度的、品質的、また生産コスト的にも大幅な改善が見込まれます。

〔休 憩〕

4. 表面波励振誘電体ラジアルラインアンテナの開発

15:15~15:40

福井県工業技術センター 情報・デザイン部情報システム研究グループ 主任研究員 末定 新治

ラジアルラインスロットアンテナの補対アンテナとして、誘電体板をラジアル導波路として用いる誘電体ラジアルラインアンテナを開発しました。このアンテナは、表面波によって誘電体板表面の放射素子が励振される、進行波アンテナです。誘電体板に放射素子が一体化されているので、薄型で堅牢なアンテナとなっています。現在、誘電体板の誘電率と厚さをパラメーターとして、放射素子パターン設計法の研究をしています。

5. 真空を用いた新規薄膜作製プロセスとその製造装置化

15:40~16:05

産業技術総合研究所 関西センター光技術研究部門副部門長 平賀 隆

光技術研究部門では、真空を用いたプロセスにより樹脂表面に色素などの有機化合物を高濃度かつ薄層(~数10nm)に分散させる技術を保有しています。本技術は、光デバイス・電子デバイスを高品位かつ簡便に作製可能とするものであり、様々な光・電子デバイスへの適用技術の開発、デバイス製造装置化を行っています。

6. 数値制御プラズマCVMによる水晶ウエハの高精度加工

16:05~16:30

兵庫県立工業技術センター ものづくり開発部主任研究員 柴原 正文

光通信技術の進歩において基準周波数を生成する水晶振動子の果たす役割は益々大きくなっています。水晶振動子の高周波化は水晶ウエハの薄片化によって可能であり、従来の両面機械研磨では30 μ mが限界とされています。本発表では、機械研磨の限界を超えて薄片化することができる手法として数値制御プラズマCVMを取り上げ、その適用結果について報告します。

第2会場(5F コスモス) [材料・環境分野]

1. 環境にやさしいニッケルアレルギー対策用代替合金めっき

13:50~14:15

京都市産業技術研究所 工業技術センター 基盤技術グループ 表面技術チーム研究員 中村 俊博

ニッケルはアレルギー疾患の原因となることから、代替めっきプロセスが要望されています。代替ニッケルめっきとしてはスペキュラム(CuSn)合金が有力な候補であり、一部毒性の強いシアン化物浴で実用化されています。本発表では、当研究所で開発した環境調和型ノーシアンめっき浴からのスペキュラム(CuSn)合金めっきについて紹介します。

2. 低融機能性フリットの活用について

14:15~14:40

京都府中小企業総合センター - 産業支援部 技術支援課専門員 矢野 秀樹

地場の伝統産業である京焼・清水焼の上絵用に開発した低融機能性フリット(有鉛・無鉛)は、陶磁器の加飾材料として一応の成果を得ましたので、低融機能性フリットが持つ低融性、化学的耐久性、耐ガスなどに有用な特性を新規の材料開発の技術シーズとして活用できないか提案します。

3. 環境と人に優しい木製ベンチの開発

14:40~15:05

奈良県工業技術センター - 電子・情報・デザイン技術チーム主任研究員 山野 幸夫

地域デザインの向上と県産材有効利用の一環として、より多くの人々が安全で、使いやすい、ユニバーサルな観点から分析・設計した太鼓形座型木製ベンチのデザイン提案と、試作モデルによる官能評価、座り心地感について発表します。

[休 憩]

4. 廃棄タンパク資源の高度化利用

15:15~15:40

滋賀県東北部工業技術センター - 繊維・有機環境材料担当主査 三宅 肇

絹タンパク質(セリシン・フィブロイン)は、生体親和性や保湿性、抗酸化性など生理的機能に優れた天然資源です。そこで、化成品やメディカル、繊維分野を対象に、これらの機能を利用した用途開発事例について紹介します。

5. 米糠を原料とするオイルゲル化剤の開発

15:40~16:05

和歌山県工業技術センター - 化学技術部精密化学担当副主査研究員 細田 朝夫

近年、非水性溶媒(有機溶媒)をゲル化する低分子化合物(低分子オイルゲル化剤)の開発が盛んに行われ、多くの報告がなされています。今回私どもは、米糠から得られる物質を有効利用する研究の過程で、myo-イノシトールから誘導した化合物が、n-ヘキサンやトルエンなどの有機溶媒をゲル化することを見出したので紹介します。

▶ パネルセッション

13:30~17:00

第3会場(5F サンフラワー)

各公設試験研究機関の活動の紹介、技術開発成果などをパネルや試作品などを交えてご紹介します。

▶ 名刺交換・技術相談 (発表会終了後、会場にて名刺交換・技術相談を行います。)

会場案内

ラッセホール

〒650-0004 兵庫県神戸市中央区中山手通4-10-8

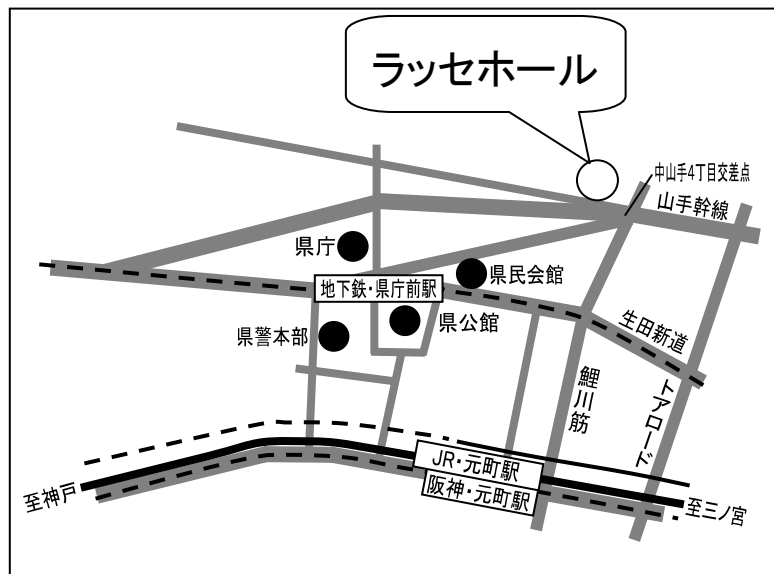
TEL 078-291-1117(代表)

アクセス JR・阪神元町駅より北へ徒歩8分

神戸市営地下鉄県庁前駅より徒歩5分

JR三ノ宮駅、阪急・阪神三宮駅より徒歩15分

駐車場はございませんので電車・バス等をご利用下さい。



送付先：FAX 078-735-7845

兵庫県立工業技術センター 技術企画部 宛

近畿地方公設試テクノロジーサーチコンファレンス2004 参加申込票

平成16年11月18日(木) 13:30~17:00

会社名・所属・役職		
氏名		
住所	〒	
TEL・FAX e-mail	TEL e-mail	FAX
参加希望会場	第1会場	第2会場
紹介公設試	<input type="checkbox"/> 近畿経済産業局 <input type="checkbox"/> 産業技術総合研究所 <input type="checkbox"/> 福井県 <input type="checkbox"/> 滋賀県 <input type="checkbox"/> 京都府 <input type="checkbox"/> 大阪府 <input type="checkbox"/> 兵庫県 <input type="checkbox"/> 奈良県 <input type="checkbox"/> 和歌山県 <input type="checkbox"/> 京都市 <input type="checkbox"/> 大阪市 <input type="checkbox"/> その他	